

孤立と支え つながりは回復する

2018年12月8日(土) 13:30 ~ 16:00

トークイベント 13:30~14:45

つながりは回復する

—理解すること、されること—

文筆業 **鈴木 大介氏**

(代表著書:『最貧困女子』(幻冬社)、『脳が壊れた』(新潮社)など)

聞き手 山田 容(龍谷大学社会学部准教授)

<鈴木大介氏/略歴>

1973年千葉県生まれ・子どもや女性、若者の貧困問題をテーマにした取材活動をし『最貧困女子』(幻冬社)などを代表作とする記者だったが、2015年に脳梗塞を発症して高次脳機能障害当事者に。その後は当事者としての自身を取材した闘病記『脳が壊れた』『脳は回復する』(いずれも新潮社)や、夫婦での障害受容を描いた『されど愛しきお妻様』(講談社)などを出版する。

クロストーク 15:00~16:00

孤立しがちな高齢者、障害者、子ども・若者を支えるために

■コメンテーター **鈴木 大介氏**

■シンポジスト **桐高 とよみ氏** (NPO法人 甲賀湖南成年後見センターばんじー 所長)
杉山 真智子氏 (NPO法人 四つ葉のクローバー 理事長)

場 所 **龍谷大学瀬田キャンパス 8号館101教室**

大津市瀬田大江町横谷1-5

申 込 **事前申込制** ※裏面の参加申込書をFAXでお送りいただくか、Webサイトもしくは申込QRコードからお申し込みください。

定 員 **200名** 参加費 **無料**

概 要

社会から孤立している人たちは、生活や人生を営むのに必要な他者から支えを得られず、途方に暮れ、時に生きる力を奪われることもあります。孤立にいたる背景はさまざまですが、周囲の理解や関わりの小さな変化が、孤立している人と社会とのつながりを開くこともあります。

このフォーラムでは、厳しい環境に置かれている人達に焦点を当てたルポルタージュを発表し続け、ご自身も脳梗塞から高次脳機能障害を経験された文筆業の鈴木大介さんをお招きし、取材した立場、そして当事者の立場から孤立と支えについて考えるひとときを持ちます。

さらに、地域で孤立しがちな人への支援活動に携わっている方々からもお話を伺い、当事者と実践の現状について学び理解を深めていただきます。

(URL : <http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/welfare/project/forum/2018.html>)

■主催/龍谷大学福祉フォーラム



《申込QRコード》

福祉フォーラム2018 参加申込書

※必要事項をご記入の上、FAXにてお送りください

申込日時： 年 月 日

宛先

FAX:077-543-7771

フリガナ

お名前

ご職業

連絡先

ご住所

電話番号

FAX

E-mail

今後の案内
送付について

今後、福祉フォーラムからの案内送付を
希望されますか？

希望する ・ 希望しない

■受講申し込み方法

申し込みの際は、必要事項をご記入の上、FAXでお送りいただくか、Webサイトもしくは申込QRコードからお申し込みください。

(<https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/forum-2018/>)

●申込締切日

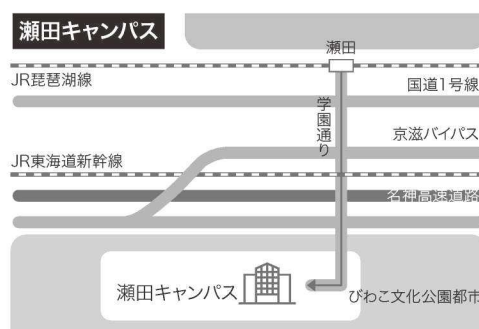
2018年12月3日(月)

※ただし、定員に達した時点で締め切らせていただきますので予めご了承ください。



《申込QRコード》

■アクセス



■交通アクセス

- JR「瀬田」駅からバスで約10分
- 名神高速道路、大阪方面からは瀬田西IC、名古屋方面からは瀬田東ICから約10分

※個人情報の取り扱いについて

【上記で伺いました個人に関わる情報は、個人情報保護法及びこれに準拠した学内の個人情報の保護に関する規程に従い、厳正に情報を管理し、本学事業以外には利用いたしません。】

問い合わせ受付時間：月曜日～金曜日 9:00～16:30(土曜・日曜・祝日及び大学が定める休日は、受付業務を行っておりません。)

●お問合せ先

龍谷大学福祉フォーラム事務局 (REC滋賀)

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 TEL:077-544-7291 FAX:077-543-7771
E-mail:r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp
ホームページ:http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/welfare/index.html